

Sakana AIによる日本特化オープンLLM「Namazu」とWeb検索統合チャット「Sakana Chat」公開に関する調査報告

Executive Summary

2026年3月24日、Sakana AIは「最大規模のオープン基盤モデルを各国仕様へ適応させる事後学習技術」の技術実証として、日本仕様へ適応させた試作モデルシリーズ「Namazu (α版)」および、同モデルを搭載したWeb検索統合チャットサービス「Sakana Chat」を一般公開した。¹

Namazuは、開発時点で高性能なオープンウェイト基盤モデル (DeepSeek / Llama / gpt-oss) を選定し、日本の文化・社会文脈におけるバイアス是正を目的とする独自データセットで事後学習を行う設計方針を示している。ベースモデルの推論・知識・コーディング能力を主要ベンチマーク群で「ほぼ同等に維持」しつつ、中立性・事実正確性に関する独自ベンチマークで改善 (例: 回答拒否率72%→ほぼ0%) を主張しているが、具体的スコアや事後学習手法の詳細は「後日テクニカルレポート」、モデルウェイトも「準備中」であり、現時点では未公開である。²

Sakana Chatは無料・登録なしでも利用可能 (メール登録で履歴保存と上限緩和) で、日本国内からのみ利用可能。入力データは品質向上目的で学習に用いられ得る一方、現時点でオプトアウトは提供されない。会話履歴やアカウント情報は日本国内のGoogle Cloudに保管され、プライバシーポリシー上はFirestoreが保管場所として明記される。³

外部反応は、国内主要技術メディア複数社が一斉に報道し、SNS上でも一定の言及量と評価 (速度・日本語・「大阪」モード等) が見られる一方、学習利用のオプトアウト不在、地域制限、UI/UX、品質ばらつき等への懸念も顕在化している。定量指標として、はてなブックマーク上でSakana Chatページが「262 users」ブックマーク、コメント39件、Yahoo!リアルタイム検索の自動まとめで「120件のポスト」「ポジティブ57%/ネガティブ43%」等が確認できる (ただし後者はAI生成で正確性保証なし)。⁴

法務・倫理・セキュリティ観点では、(1) 誤情報・幻覚、(2) 著作権・引用の適法性、(3) 個人情報・機密情報の入力と学習利用、(4) バイアス是正と「検閲除去」の線引き、(5) 悪用 (詐欺・なりすまし等) に加え、Web検索統合に伴うソース取り扱いとログ/キャッシュ等の残存が主要論点となる。これらは利用規約・プライバシーポリシー・行政ガイダンス (個人情報保護委員会の注意喚起、文化庁の整理等) に照らした運用設計が必要である。⁵

調査対象と必須項目

本報告書は、ユーザー指定の以下必須項目を、一次情報 (公式ブログ、FAQ、利用規約、プライバシーポリシー等) を優先して検証し、未公開点は「未公開」と明記して整理する。

- ・公式発表・プレスリリースの要約 (公開日、関係者、目的、提供形態、価格・利用条件)⁶
- ・Namazuの技術仕様と設計方針 (モデル規模、学習データ特徴・出典、日本語最適化、ライセンス、推論環境・API仕様)⁷
- ・Sakana Chatの機能詳細 (Web検索統合、リアルタイム性、ソース提示、履歴・コンテキスト、プライバシー/保持)⁸
- ・ユーザー・メディア・専門家の反応と評価 (肯定/否定の分類、可能な定量指標)⁹
- ・セキュリティ・倫理・法的懸念 (誤情報、著作権、個人情報、バイアス、悪用)¹⁰
- ・競合比較 (国内外の類似サービスと差別化点を表形式で比較)¹¹
- ・実用上の利点と制約 (業務利用、教育、検索代替)¹²

- ・推奨と結論（導入チェックリスト、短中期見通し） 13

公式発表の要約と提供条件

公開日と公式コミュニケーションの位置づけ

- ・公開日は2026年3月24日。Sakana AI公式ブログ「最大規模のオープン基盤モデルを各国仕様へ適応させる事後学習技術を開発」において、Namazu（α版）とSakana Chatの公開を告知している。 14
- ・同日にSakana Chatの利用規約・プライバシーポリシーも制定日として2026年3月24日が明記されており、サービス一般公開のタイミングと整合する。 15
- ・創業者側からの発信として、共同創業者のDavid Ha 16 によるLinkedIn投稿で「一般向けサービスとして公開」「強力なWeb検索エージェント」「日本国内で安心して使える選択肢」を強調している。 17

目的と背景

公式ブログが示す主目的は、(1) 高性能オープンウェイト基盤モデルの活用、(2) 事後学習により各国の文化・価値観・安全保障上の要件に合わせる技術開発、(3) その第一弾として日本仕様へ適応すること、である。事前学習コストの高騰により最先端開発が米中中心に集約する一方、オープン化も進むため、「オープンモデル+事後学習」でバイアス調整し地域要件に適応する戦略を採る、と整理されている。 18

ここで言う「課題」は、学習データの偏りや開発元地域のイデオロギー・情報統制傾向がモデル挙動に反映されうる点であり、Namazuはこれを「日本での利用に適した振る舞い」へ近づけることを狙う。 19

提供形態、価格、利用条件

Sakana Chatは「Web検索機能を統合した専用のチャットインターフェース」として提供され、公開前に約1,000名規模のβテストを実施した後、一般公開に至った。 18

価格は「現時点で無料」。将来的な変更は事前告知するとFAQに明示される。 20
利用条件として重要なのは次の4点である。

- ・日本国内からのみ利用可能（技術的手段によるアクセス制限を実施し得る）。 21
- ・アカウント登録は必須ではないが、メール登録で会話履歴保存と利用上限引き上げ。 20
- ・入力データは品質向上目的で学習・改善に利用され得る。現時点でオプトアウトなし。 21
- ・個人情報入力は禁止（FAQと利用規約の双方で明記）。 21

関係者・協力要素（公式に確認できる範囲）

公式ブログは、ベースモデル提供コミュニティとしてDeepSeek 22、Meta 23、OpenAI 24 への謝意を述べる。 14

また、Namazu訓練に関連して、2025年10～11月の2か月間、GMO Internet Group 25 内の「GMO GPUクラウド」計算資源支援があった旨を明記し、関連プレスリリースとインタビュー記事を参照リンクとして提示している。 26

Namazuの技術仕様と設計方針

設計方針の核

公式の記述から抽出できる設計方針は「モデル非依存の事後学習（post-training）技術」と「地域要件（文化・価値観・安全性）へ適応」である。ベースモデルを固定せず、開発時点で高性能なオープンウェイトモデルを選定し、今後も優れたモデルへ柔軟に適用可能とする。¹⁸

この方針は、(A) 基礎能力（推論・知識・コーディング）を落とさない、(B) 政治・歴史・外交等での中立性・正確性を改善する、(C) 日本語能力で同規模競合と同等水準を維持する、という評価軸にも反映されている。¹⁸

モデル構成と規模（一次情報+ベースモデル公開情報）

公式ブログが提示するNamazu（α版）は3系統である。¹⁸

- Namazu-DeepSeek-V3.1-Terminus
- Llama-3.1-Namazu-405B（名称順序はベースモデルのライセンス規約に基づく）²⁷
- Namazu-gpt-oss-120B

Namazu自体の「総パラメータ数」「有効化パラメータ数（MoEの場合）」など厳密仕様は、現時点で公式に一覧化されていない（未公開）。ただし、ベースモデル側の公開情報として以下は確認できる。

- DeepSeek-V3.1（ベース）：総671B、Activated 37B、コンテキスト長128KがHugging Face上のモデル説明表に明記されている。²⁸
- DeepSeek-V3.1-Terminus（ベース）：ライセンスはMIT LicenseがHugging FaceのLICENSEに明記されている。²⁹
- gpt-oss-120b（ベース）：OpenAIのモデル説明で「117B parameters / 5.1B active parameters」とされる。³⁰
- Llama 3.1 405B（ベース）：ライセンス文書がLlama 3.1 Community License Agreementとして配布されている（Hugging Face上のLICENSE）。³¹

Namazuは「事後学習により挙動を調整したプロトタイプ」と位置づけられており、アーキテクチャや推論モード（例：thinking/non-thinking）の扱いがベースモデルからどう変わるかは未公開である。³²

学習データの特徴と出典

一次情報で明確に言えるのは、Namazuの事後学習で「日本の文化的・社会的文脈におけるバイアス是正のための独自データセットを構築」した、という点までである。データの出典（具体的なコーパス、収集方法、ライセンス、フィルタリング、合成データ比率等）は未公開。¹⁴

なお、Sakana Chatのプライバシーポリシーでは、ユーザーのプロンプトやフィードバックを用いて「学習用の合成データ・評価用ベンチマークの作成等のAI学習プロセス」を行う例示があるが、これがNamazu（α版）の公開時点でどの程度実施済みか、また将来の学習データにどう反映されるかは、規約上は可能性として示されているにとどまる（実施範囲は未公開）。¹⁵

日本語最適化の手法

公式は「日本語能力」を日本語ベンチマーク（Nejumi Leaderboard4 / Swallow LLM LeaderBoard v2 / JamC-QA）で評価し、ベースモデルおよび同規模他社モデルと同等程度の性能を達成したと述べるが、日本

語最適化の具体手段（トークナイザ改修、追加事前学習、SFT/RLHF設計、語彙拡張等）は未公開である。

18

ライセンス

Namazu (α版) そのもののライセンス（ウェイト配布時の条項、商用可否、派生・再配布条件など）は「モデルウェイト公開が準備中」であり、現時点で未公開。³³

一方で、ベースモデル側は少なくとも以下が確認できる。

- DeepSeek-V3.1-Terminus: MIT License (Hugging FaceのLICENSE)。²⁹
- Llama 3.1 405B: Llama 3.1 Community License Agreement (Hugging FaceのLICENSE)。³¹
- gpt-oss-120b: OpenAI側でApache 2.0ベースの配布が示され (Model CardとLICENSE)、開発者向け資料でも「open-weight」として整理される。³⁴

Namazuにおいて「Llama-3.1-Namazu-405B」だけ名称順序を変えているのは、ベースモデルのライセンス規約に基づくとして明示されている。²⁷

推論環境・API仕様

公式に確認できる提供形態は、少なくともSakana Chat (Webアプリ) での提供である。Namazuウェイトのローカル推論手順、推奨推論基盤、API仕様（エンドポイント、レート制限、ログ保持、ツール呼び出し仕様等）は未公開。³⁵

Sakana Chatの機能詳細とデータ取扱い

Web検索統合の仕組みとリアルタイム性

一次情報が保証する範囲は次の通りである。

- Sakana ChatはWeb検索機能を統合し、最新情報を踏まえた回答を提供するとFAQに明記。³⁶
- 公式ブログでも「Web検索機能を備えたNamazuはリアルタイム検索を駆使して情報を収集・統合して返答」と説明し、ニュース比較や特定テーマの調査例を提示している。¹⁴
- LinkedIn投稿では「強力なWeb検索エージェント」を備えると表現している。¹⁷

一方で、検索プロバイダ（どの検索エンジン/インデックスを利用するか）、クエリ生成・取得件数・再ランキング・キャッシュ、閲覧/要約の範囲、フィルタリングや安全制御の具体は未公開である。利用規約には「第三者サービス (API等) が含まれる場合がある」旨があるが、特定はされない。³⁷

ソース提示・引用の方法

公式のUI仕様として「引用の表示方式（番号、脚注、ソースパネル等）」は一次情報に明文化されていない（未公開）。ただし、第三者検証としてGIGAZINE³⁸の利用レポートでは、リアルタイム検索後に要点を項目立てでまとめ、各項目のリンクから情報ソースを確認できる挙動がスクリーンショット付きで述べられている。³⁹

このことから、少なくとも「出典リンクへ遷移できる形でのソース提示」は実装されている可能性が高いが、(1) そのリンクが実際に回答生成へ寄与した“引用”なのか、(2) 検索結果の“関連リンク集”なのか、(3) どこまで本文がソースに忠実か、は一次情報だけでは断定できない（未公開）。⁴⁰

会話履歴・コンテキスト管理

確認できる仕様は「履歴の保存可否」と「保存期間」に限られる。

- メール登録なしでも送信可能。登録すると会話履歴の保存と利用上限引き上げ。 ³⁶
- 履歴は「アカウントが有効な間」保管とFAQに明記。 ³⁶
- 一方で、モデルコンテキスト長、会話要約、長期記憶、検索時に履歴がどう使われるか等の内部仕様は未公開。 ²¹

利用モード・体験上の機能

公式FAQには列挙されていないが、技術メディア報道では「標準」「丁寧」「大阪」という回答モードの存在が確認されている。 ⁴¹

これは製品差別化としては軽量だが、利用者が「語用論（丁寧さ）」「方言（大阪弁）」をUIで切り替えられることを示し、日本語最適化が“能力”だけではなく“スタイル制御”にも及ぶ可能性を示唆する。ただし、制御方式（システムプロンプト、LoRA、スタイル分類器等）は未公開である。 ⁴²

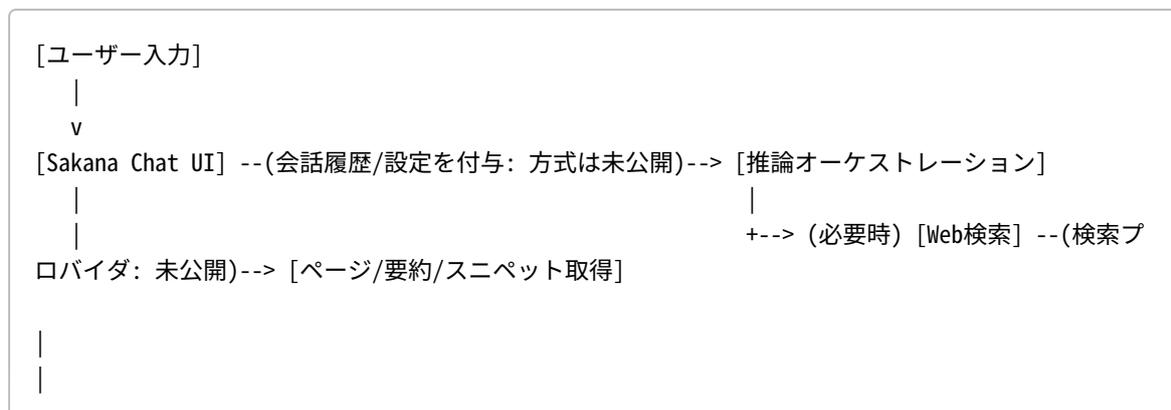
プライバシー、データ保持、学習利用

Sakana Chatのデータ取扱いは、一次情報として相対的に明記範囲が広い。

- 取得情報（入力情報、利用状況、技術環境（IP等））が列挙される。 ⁴³
- 利用目的として、サービス提供/品質向上/安全性確保等に加え、学習用合成データ・評価用ベンチマーク作成などAI学習プロセスの例示がある。 ¹⁵
- FAQと規約の双方で、入力内容・アウトプットがモデル学習に利用されること、かつ現時点で学習利用のオプトアウトを提供しないことが明記される。 ²¹
- 会話履歴・アカウント情報は日本国内のGoogle Cloudに保管（プライバシーポリシーではFirestoreと明記）。国外移転は法令等で許される場合を除き行わない方針。 ⁴⁴
- 規約上、品質評価等のため「必要最小限の範囲で人が確認する場合」があり、個人情報・機密情報の自動検出・除去に努めるとされる。 ³⁷
- 重要な留意点として、規約は「当社がコンテンツに基づき学習を行ったモデルの重み、外部ベンダーの一時キャッシュ、監査ログ等」について削除義務を負わない旨を明記する。これはデータ消去要求の実務上の限界を定義しており、業務利用との相性に直接影響する。 ³⁷

検索統合フローの概念図（実装詳細は未公開）

以下は、一次情報が示す「検索して収集・統合して回答」「第三者サービスを含み得る」「ソースリンク提示」を満たす最小限の概念図である（具体実装は未公開）。 ⁴⁵



```

|
v
+--> (検索なし)
-----> [回答生成]
|
v
[回答 + ソースリンク提示(方式は一部第三者報告)]

```

反応と評価の整理

メディア報道の傾向

国内技術メディアは、公開当日に「日本特化」「バイアス是正」「Web検索統合」「無料一般公開」「βテスト約1,000人」など、公式ブログの論点を踏まえた要約記事を複数掲載した。⁴⁶ 報道の焦点は概ね次の2軸に収束している。

- ・モデル面: “海外オープンモデルを、日本の文脈へ事後学習で適応”というソブリン/ローカライズ戦略 (検閲・中立性・正確性の改善主張)。⁴⁷
- ・サービス面: “無料で試せる検索統合チャット”としての体験価値 (高速レスポンス、口調モード等)。⁴⁸

SNS・コミュニティ上の定量指標

取得可能な範囲で、主要な定量指標を整理する (指標の意味が不明なものは不明と明記)。

観測対象	指標	値	出典上の注意
Sakana Chatページ (はてなブックマーク)	ブックマーク数	262 users	はてなページ上に表示。コメント39件も同画面で確認。 ⁴⁹
Sakana Chatページ (はてなブックマーク)	コメント数	39件	同上。 ⁴⁹
X投稿 (Sakana Chat公開告知) をYahoo!リアルタイム検索で表示	エンゲージメント数値 (種別未特定)	96 / 1,557 / 5,588	Yahoo!表示上、数値のラベル (返信/リポスト/いいね等) が本文から確認できず、種別は未特定。 ⁵⁰
Yahoo!リアルタイム検索「SNSのバズまとめ」 (自動生成)	関連ポスト数	120件	「AIが生成」「最新性・正確性は保証されない」と明記。 ⁵¹
Yahoo!リアルタイム検索「SNSのバズまとめ」 (自動生成)	ポジ/ネガ比	57% / 43%	同上 (AI生成で保証なし)。 ⁵¹
LinkedIn投稿 (共同創業者投稿)	リアクション数	101	投稿画面に表示。コメント5件も同画面で確認。 ¹⁷

反応の内容分類（肯定・否定・論点別）

一次情報ではないため、以下は「観測された発言・コメントの傾向」を、出典（どこで観測されたか）とともに整理する。

肯定的な反応は、(1) 体感速度、(2) 日本語の自然さ、(3) 検索でソースリンクを辿れる点、(4) 口調/大阪モードの面白さ、に集約する傾向がある。これはYahooの自動まとめが「無料で快速」「高速レスポンス」「大阪弁モード」等を代表反応として記述している点とも一致する（ただし同まとめはAI生成で保証なし）。⁵²

否定的・懸念の反応は、(1) 入力学習に利用されるのにオプトアウトが無い点、(2) 海外から利用不可（VPN言及等）、(3) UI/UX（入力送信・導線）、(4) 回答品質のばらつき（論理破綻・日付認識等）、(5) 「第三者サービス」条項への不安、などに分かれる。はてなブックマークのコメントにはオプトアウト不在や規約条項（第三者サービス）への警戒が明確に現れる。⁵³

専門家・準専門家的なコメントとしては、LinkedInのコメント欄で「日本語は上手いが難しい文脈では自己矛盾が起きる」「海外アクセス時のエラーメッセージ改善」等、品質と運用に踏み込んだ観察がある。⁵⁴

セキュリティ・倫理・法的懸念

誤情報と検証可能性

Sakana ChatのFAQは、確率的生成により不正確な情報（ハルシネーション）や不適切出力が生じること、重要意思決定では他情報源で確認することを明示する。³⁶

利用規約でも、アウトプットの正確性・完全性・最新性等を保証しない旨、また法律・医療・投資等の助言提供を目的としない旨を明記している。³⁷

Web検索統合は「最新情報への追従」を可能にする一方、(1) 出典リンクがあっても要約が誤っている、(2) 偏ったソース選択、(3) クリック先の更新・削除、(4) 検索汚染（SEO/生成コンテンツ氾濫）などで検証が難しくなるリスクが残る。公式はソースを「収集・統合」と述べるが、検索の網羅性・選択基準は未公開であり、検証可能性を支えるには運用設計とUIの透明性が鍵となる。⁵⁵

著作権と引用・要約の適法性

Web検索統合型チャットは、第三者著作物の要約・再表現を常態化させるため、著作権上の整理が必須となる。文化庁は「AIと著作権」に関する考え方の取りまとめを公開しており、生成AIと著作権の関係・権利制限規定等の基本的考え方を整理している。⁵⁶

Sakana Chat利用規約は、入力内容が第三者の権利（著作権・商標・プライバシー等）を侵害しないことをユーザーが保証する条項を置き、またアウトプットの無確認拡散や「AI生成であることを秘匿して誤認させる利用」等を禁止している。³⁷

これは、権利侵害の一次責任を利用者側に寄せる設計であり、業務利用では「社内の著作権チェック」「引用ルール」「出典保存」の運用が必要になる。

個人情報・機密情報の入力と学習利用

個人情報については二層のリスクがある。

- ・利用者入力: FAQで個人情報入力を禁止し、規約でも禁止事項として列挙している。²¹
- ・事業者側の学習利用: 規約・プライバシーポリシー上、入力内容・アウトプットを学習に利用する可能性があり、かつ現時点でオプトアウトがない。⁵⁷

日本の個人情報保護委員会は、生成AIサービス利用に関する注意喚起を公表しており、個人情報の適正取扱い確保の観点から、利用時の留意を促している。⁵⁸

この行政の注意喚起と、Sakana Chatの「オプトアウトなし」「人手確認があり得る」「学習済み重み等は削除義務を負わない」といった規約設計を合わせると、機微情報・営業秘密を扱う組織での利用は、原則として入力制限（データ分類）と監査が前提となる。⁵⁹

バイアス是正と「検閲除去」の倫理的線引き

Namazulは、海外モデルに内在する自己検閲傾向を事後学習で低減し、政治的トピックにも「客観的事実に即して多角的に応答」することを主張する。拒否率72%→ほぼ0%の例示はこの方向性を象徴する。¹⁸

ただし、この種の“拒否の低減”は、(1) 正当な安全配慮を外すのか、(2) 規範に沿った情報提供へ組み替えるのか、(3) 悪用耐性をどう担保するのか、という倫理設計を伴う。FAQは「安全性トレーニング」「複数の安全性ベンチマークで主要商用モデルと同等水準」達成を述べるが、評価セット、逸脱率、レッドチーミング結果等の詳細は未公開であり、外部監査可能性は現時点で限定的である。⁶⁰

悪用リスク（詐欺・なりすまし等）と規約統制

利用規約は、なりすまし・詐欺・スパム、無確認拡散、ドッキング、リバースエンジニアリング、蒸留（抽出を含む）等を禁止している。³⁷

一方で、規約上の禁止が実効性を持つには、(A) 監視と検知、(B) 通報導線、(C) 制裁（停止等）、(D) ログと監査、が必要となる。Sakana Chatは通報カテゴリ（不適切出力、権利侵害・削除依頼等）をFAQで明示しているが、SLAや対応基準は未公開である。²¹

競合比較

以下は「Web検索統合による回答＋ソース提示」を中核とする類似サービスを中心に比較する。国内向けで同等コンセプトの“無料・一般公開・検索統合チャット”は現時点で一次情報ベースの網羅が難しく、ここでは国際的に広く使われる代表例を含める（国内固有の競合については、固有名詞よりも導入判断軸を重視するのが実務的である）。

サービス	Web検索の統合	ソース提示	提供地域/形態	料金	主な差別化（一次情報ベース）
Sakana Chat	統合あり（リアルタイム検索で収集・統合と説明） ³⁵	方式は一次情報では未公開。第三者レポートではリンク提示あり。 ³⁹	日本国内向け。IP制御等で制限し得る。 ⁶¹	現在無料。将来変更あり得る。 ³⁶	日本の文化・社会文脈向けのバイアス是正を目的に事後学習したモデルを搭載、という位置づけ。 ¹⁸
ChatGPT Search (OpenAI)	自動/手動でWeb検索。 ⁶²	インライン引用＋Sourcesパネル。 ⁶³	グローバル（製品プランに依存）。	プラン構成は本報告書では未検証（未公開扱い）。	公式に「リンク付きの最新回答」と「引用UI」を明文化。 ⁶²

サービス	Web検索の統合	ソース提示	提供地域/形態	料金	主な差別化（一次情報ベース）
Perplexity	「リアルタイムでインターネットを検索」とヘルプで説明。 ⁶⁴	一般に出典リンク提示（UI詳細は本報告書では未検証）。 ⁶⁵	グローバル（Web）。	無料版あり（詳細プラン差は本報告書では未検証）。 ⁶⁶	検索エンジンの体験（“answer engine”）を前面に据える。 ⁶⁷
Gemini（Google Search grounding）	Google Searchでリアルタイム情報に“ground”し引用提供、と開発者ドキュメントで明記。 ⁶⁸	citationsを提供すると明記。 ⁶⁹	API/クラウド機能として提供。 ⁷⁰	料金は本報告書では未検証（未公開扱い）。	“grounding”を明示的機能として設計（RAG/根拠付け重視）。 ⁷¹
Claude（Anthropic：Web search）	APIにWeb search機能（リアルタイム+引用）を追加と公式発表。 ⁷²	citations提供を明記。 ⁷²	API中心（機能提供方針は製品により異なるため詳細未検証）。	料金は本報告書では未検証（未公開扱い）。	「Web searchをAPI機能として提供」し、アプリ構築側が統合しやすい。 ⁷²
Copilot Search in Bing（Microsoft）	“Copilot Search in Bing”として要約回答+探索導線。 ⁷³	cited sourcesを明記。 ⁷⁴	Bing検索体験に統合。	料金は本報告書では未検証（未公開扱い）。	検索UI中心に“要約+ソース+次の探索”を強調。 ⁷⁴

この比較からの含意は、Sakana Chatの差別化は「検索統合そのもの」ではなく、「日本仕様への事後学習でバイアス/自己検閲を是正しつつ基礎能力を維持する」とする“モデル側のローカライズ思想”と、「国内限定提供・国内クラウド保管」など運用設計にある、という点である。⁷⁵

実用上の利点と制約

利点

第一に、検索統合によって「学習済み知識の限界」を補い、最新ニュースや動向を踏まえた回答を返すという設計が明確である。公式がニュース比較例を提示し、第三者レポートでも検索→要約→ソースリンク遷移の挙動が確認される。⁷⁶

第二に、公開条件が軽い（無料、登録なしでも送信可、PC/スマホ対応）ため、教育・学習用途や個人の情報収集の入口として試しやすい。⁷⁷

第三に、政治・歴史・外交等で「中立性と正確性」を改善したという問題設定は、日本語圏ユーザーの現実的な不満（海外モデルの自己検閲・偏り疑念）に直結しており、ここに価値がある。少なくとも公式は、拒否率の大幅低減を定量例として掲げる。¹⁸

制約

最大の制約は、入力内容が学習に利用され得る点と、現時点でオプトアウトがない点である。さらに、学習済み重みや外部ベンダーキャッシュ、監査ログ等については削除義務を負わない、と規約に明記されるため、機密情報を扱う業務利用とは構造的に相性が悪い。²¹

第二に、地域制限（日本国内のみ）により、多国籍企業や海外拠点での統一利用が難しい。規約上もIP制御等で制限し得る旨が明記され、実際に海外からの利用にVPNが必要だったとするコメントがLinkedIn上にある。⁷⁸

第三に、Namazuの技術詳細（事後学習手法、学習データ出典、各ベンチマークの具体スコア、評価再現性、レッドチームing結果等）とモデルウェイトは未公開であるため、研究・調達・監査の観点で“評価可能性”が現時点では限定される。⁷⁹

第四に、誤情報・不適切出力の可能性は公式に明示されているため、検索代替として使う場合でも「一次情報クリック」「複数ソース照合」「社内ルール整備」が必須となる。²¹

推奨と結論

導入検討時チェックリスト

業務・教育・組織導入を想定する場合、一次情報に基づく最低限のチェック項目は以下である（本報告書の結論として推奨）。

- ・データ分類: 個人情報・機密情報・営業秘密は入力禁止にできるか（規約上も個人情報入力は禁止）。²¹
- ・学習利用許容: 入力・出力が学習目的で利用される可能性を許容できるか。現時点でオプトアウトなし。²¹
- ・消去要求の実効性: 履歴削除やアカウント削除は依頼可能だが、学習済み重み等は削除義務なし、という線引きを理解した上で使うか。²¹
- ・検証プロセス: 重要判断ではソース確認が必須であること（FAQ・規約の免責と注意喚起に整合）。²¹
- ・著作権運用: 生成物の公開・配布時に、引用・要約の適法性と出典管理を行えるか（文化庁資料も参照）。⁸⁰
- ・地域制限: 日本国内限定運用で問題ないか（海外利用が必要なら代替検討）。²¹

短中期の見通し（一次情報ベース）

短期的には、Sakana Chatの一般公開を通じて「モデルとサービスを継続改善」と公式は述べている。また、テクニカルレポート公開予定とモデルウェイト公開準備中が明記されており、透明性と再現性は今後改善する可能性がある。³³

中期的には、(1) テクニカルレポートの具体性（データ・手法・評価の再現性）、(2) ウェイト公開時のライセンスと利用条件、(3) Sakana Chatの料金体系変更の有無、(4) オプトアウトや企業向け統制（ログ/保持/学習除外）の提供可否、が採用判断を左右する主要変数となる。料金体系は将来変更の可能性がFAQに明記されており、現状の「無料前提」で社内標準ツール化するのはリスクがある。⁶⁰

付録：主要一次情報リンク（URL）

公式ブログ（Namazu α / Sakana Chat 公開）：
<https://sakana.ai/namazu-alpha/>

Sakana Chat：
<https://chat.sakana.ai/>

Sakana Chat FAQ：
<https://chat.sakana.ai/faq>

Sakana Chat 利用規約：
<https://chat.sakana.ai/terms>

Sakana Chat プライバシーポリシー：
<https://chat.sakana.ai/privacy>

（参考）GMO側プレスリリース（共同研究・GPUクラウド活用）：
<https://group.gmo/news/article/9704/>

1 2 6 7 14 16 18 19 26 27 32 33 35 45 47 55 75 76 79 最大規模のオープン基盤モデルを各国仕様へ適応させる事後学習技術を開発

<https://sakana.ai/namazu-alpha/>

3 8 10 12 13 20 21 22 23 36 44 48 57 60 77 Sakana Chat

<https://chat.sakana.ai/faq>

4 9 24 49 53 [B! AI] Sakana Chat

<https://b.hatena.ne.jp/entry/s/chat.sakana.ai/>

5 37 59 61 78 Sakana Chat

<https://chat.sakana.ai/terms>

11 63 ChatGPT search

https://help.openai.com/en/articles/9237897-chatgpt-search?utm_source=chatgpt.com

15 43 Sakana Chat

<https://chat.sakana.ai/privacy>

17 54 Sakana AI 初の一般向けサービス Sakana Chat を公開しました Try Sakana Chat: <https://chat.sakana.ai/> 強力なWeb検索エージェントを備え、高速で信頼性の高い情報を引き出せます。世界の高性能なオープンモデルには、開発元のバイアスが不可避免的に内在しています。我々は独自の事後学習により、①これらのバイアスの除去、②日本の価値観… | David Ha

https://jp.linkedin.com/posts/hardmaru_sakana-ai-%E5%88%9D%E3%81%AE%E4%B8%80%E8%88%AC%E5%90%91%E3%81%91%E3%82%B5%E3%83%BC%E3%83%93%E3%82%B9-sakana-chat-%E3%82%92%E5%85%AC%E9%96%8B%E3%81%97%E3%81%BE%E3%81%97%E3%81%9F-activity-7442015100409991168-4VtO

25 68 69 Grounding with Google Search | Gemini API

https://ai.google.dev/gemini-api/docs/google-search?utm_source=chatgpt.com

- 28 [deepseek-ai/DeepSeek-V3.1](https://huggingface.co/deepseek-ai/DeepSeek-V3.1)
https://huggingface.co/deepseek-ai/DeepSeek-V3.1?utm_source=chatgpt.com
- 29 [LICENSE · deepseek-ai/DeepSeek-V3.1-Terminus at main](https://huggingface.co/deepseek-ai/DeepSeek-V3.1-Terminus/blob/main/LICENSE)
https://huggingface.co/deepseek-ai/DeepSeek-V3.1-Terminus/blob/main/LICENSE?utm_source=chatgpt.com
- 30 [gpt-oss-120b Model | OpenAI API](https://developers.openai.com/api/docs/models/gpt-oss-120b)
https://developers.openai.com/api/docs/models/gpt-oss-120b?utm_source=chatgpt.com
- 31 [LICENSE · meta-llama/Llama-3.1-405B at main](https://huggingface.co/meta-llama/Llama-3.1-405B/blob/main/LICENSE)
https://huggingface.co/meta-llama/Llama-3.1-405B/blob/main/LICENSE?utm_source=chatgpt.com
- 34 [gpt-oss-120b と gpt-oss-20b Model Card](https://openai.com/ja-JP/index/gpt-oss-model-card/)
https://openai.com/ja-JP/index/gpt-oss-model-card/?utm_source=chatgpt.com
- 38 50 [人気ポスト\(@SakanaAILabs\) - Yahoo!リアルタイム検索](https://search.yahoo.co.jp/realtime/search/tweet/2036246622141849724?detail=1&ifrtl_quotedtw&rkf=1)
https://search.yahoo.co.jp/realtime/search/tweet/2036246622141849724?detail=1&ifrtl_quotedtw&rkf=1
- 39 40 42 [日本に拠点を置くAI企業のSakana AIが日本仕様の無料AIチャットサービス「Sakana Chat」を公開 - GIGAZINE](https://gigazine.net/news/20260324-sakana-chat-ai-namazu/)
<https://gigazine.net/news/20260324-sakana-chat-ai-namazu/>
- 41 [Sakana AI、日本に特化させたオープンLLM「Namazu」とWeb ...](https://gihyo.jp/article/2026/03/sakana-chat)
https://gihyo.jp/article/2026/03/sakana-chat?utm_source=chatgpt.com
- 46 [Sakana AI、DeepSeekでも"日本仕様"にできる試作モデル「Namazu」 - Impress Watch](https://www.watch.impress.co.jp/docs/news/2095759.html)
<https://www.watch.impress.co.jp/docs/news/2095759.html>
- 51 52 [「Sakana Chat」無料公開、速さと日本語最適化が好評\(2026/03/24\) | SNSのバズまとめ - Yahoo!リアルタイム検索](https://search.yahoo.co.jp/realtime/search/matome/3ca4314700fa491ebf6f1d356e58995f-1774324500)
<https://search.yahoo.co.jp/realtime/search/matome/3ca4314700fa491ebf6f1d356e58995f-1774324500>
- 56 80 [AIと著作権について](https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/aiandcopyright.html)
https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/aiandcopyright.html?utm_source=chatgpt.com
- 58 [生成AIサービスの利用に関する注意喚起等について](https://www.ppc.go.jp/news/careful_information/230602_AI_utilize_alert)
https://www.ppc.go.jp/news/careful_information/230602_AI_utilize_alert?utm_source=chatgpt.com
- 62 [Introducing ChatGPT search](https://openai.com/index/introducing-chatgpt-search/)
https://openai.com/index/introducing-chatgpt-search/?utm_source=chatgpt.com
- 64 65 [How does Perplexity work? | Perplexity Help Center](https://www.perplexity.ai/help-center/en/articles/10352895-how-does-perplexity-work)
https://www.perplexity.ai/help-center/en/articles/10352895-how-does-perplexity-work?utm_source=chatgpt.com
- 66 67 [Perplexity AI](https://www.perplexity.ai/)
https://www.perplexity.ai/?utm_source=chatgpt.com
- 70 71 [Grounding with Google Search | Generative AI on Vertex AI](https://docs.cloud.google.com/vertex-ai/generative-ai/docs/grounding/grounding-with-google-search)
https://docs.cloud.google.com/vertex-ai/generative-ai/docs/grounding/grounding-with-google-search?utm_source=chatgpt.com
- 72 [Introducing web search on the Anthropic API](https://claude.com/blog/web-search-api)
https://claude.com/blog/web-search-api?utm_source=chatgpt.com
- 73 74 [Copilot Search in Bing](https://www.microsoft.com/en-us/bing/copilot-search)
https://www.microsoft.com/en-us/bing/copilot-search?utm_source=chatgpt.com